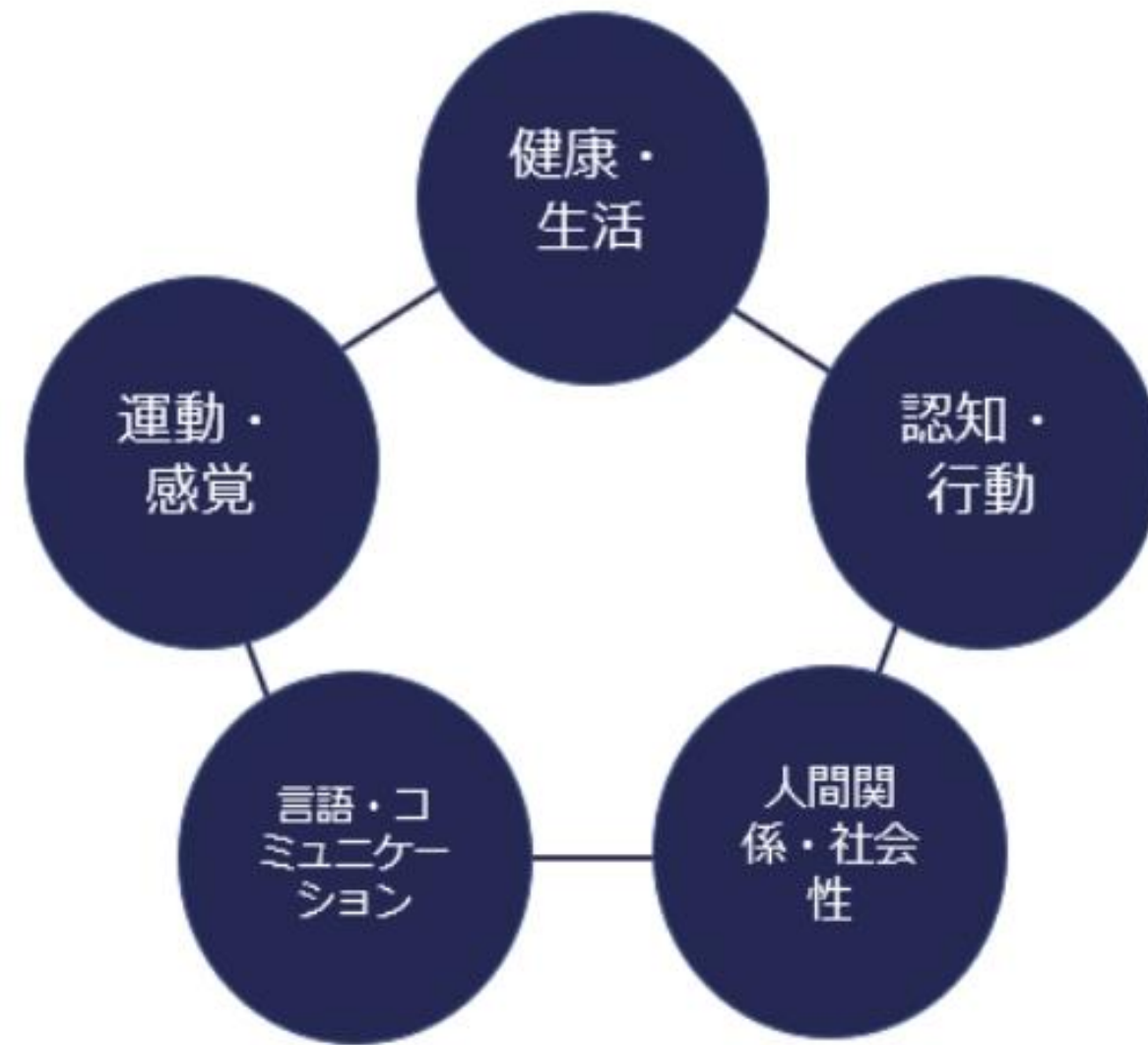


【本人支援】の5領域

目標 子どもが将来日常生活や社会生活を円滑に営めるようにする



※これらの領域の支援内容は、お互いに関連して成り立っており、重なる部分もあります。

5領域	取り組み
健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがい、検温（健康状態のチェック） ・衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援を行う。 ・一人ひとりの特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・トランポリン、平均台、マット等を用いたサーキット運動。 ・ビジョントレーニング（①眼球運動②空間認知③目と体の協応）を取り入れた学習、運動。 ・指先の運動（洗濯ばさみ、ボタン掛け、お箸、運筆等） ・体操、工作（創作活動）、外遊び（公園、アスレチック等）
認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・数量、形の大きさ、色の違い等の習得のための支援を行う。 ・絵カードやタイムタイマー等、視覚的な要素を取り入れながら時間や数の概念の理解を促進する。 ・やるべき行動を子どもにあった情報（行動見本、絵、写真）で伝える。
言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。 ・人に対して要求が必要な場面を設定し、「おねがい」「～してください」などの要求のコミュニケーションを育てる。 ・子どもたちが発表できる場（帰りの会等）で、具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。
人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の場への外出支援を通して「皆と一緒に行動する」「ルールやマナーを守って行動する」「地域で生活する」事を目的として、社会性の発達を支援する。 ・ソーシャルスキルトレーニングを行う（自分の感情を適切に表現する練習、相手の気持ちを理解する練習 etc）